

今は、各種資料の収集、整理、組織化、活用の推進期なのであるが、学校図書館の施設・設備の充実度には、かなりの地域差、学校差が見られる。

読書量と学力との相関度が高いことを思うとき、学校図書館の使命を再認識し、本来の機能が発揮できるような処置を講じたいものである。

なお、学校図書館の複雑な事務処理は、いわゆる学校司書に負うところが大きい。にもかかわらず、大半が私費でまかなわれて来ており、その公費化の要望は、まことに切なるものがあつた。昨年度、本年度と重ねて、県立学校関係の学校司書部会から、陳情書が提出されて来たが、来年度は、ささやかながら、県費負担の予算措置が取られようとしている。まことに朗報というべきであろう。今後は、学校司書といわれる人たちの研修の機会が持たれるよう、努力していきたいものである。

2 学校司書公費化を要望する陳情書

陳 情 書

福島県立高等学校司書公費採用について

昨年来陳情を続けてまいりました学校図書館司書の県費採用につきましては、一方ならぬ御協力、御配慮をいただきておりますが、御承知のように、いまだ実現されぬ実情でございます。

すでに御存知のとおり、学校図書館司書は、高度の専門知識が必要であり、生徒の読書相談等の質問にも応じられるだけの教養を、身につけねばなりません。また、他の職員より長時間の勤務であるとともに、複雑で多量なため、学校図書館のすみずみまではあくし精通していただかなければならないのであります。しかし、現在、身分が不安定で、生活をもして行けぬような状態に置かれておりますため、転職する者が続出しており、県内学校図書館に執務している者一同、非常に不安を感じ、職務に専念できない状態なのであります。

どうぞ以上の実情をおくみとりのうえ、一日も早く、県費をもって御採用ください、安んじて職務に専念できますよう、今後とも、なおいっそうの御配慮を賜りますことを、重ねてお願い申し上げます。

昭和39年10月2日

福島県立高等学校司書研修会

会 長 佐藤 広 治
副会長 池下 泰 弘
事務局長 草野 美紗子

福島県学校図書館協議会司書部会

部 長 草野 美紗子
副部長 滝 武 子
同 阿久津 英 子

以上の陳情書が、代表を通じ、県教育委員会、その他関係機関に係提出された。これに答えて県費採用の学校図

書館事務職員3名分が、新年度の予算案に計上されるに至った、という。前途に光明をスズるものである。

3 文部省主催の学校図書館研究協議会

小・中・高等学校の学校図書館運営に関する諸問題について研究協議し、教育課程の効果的な実施に資するため、昭和40年2月2日～3日の2日間、国立教育会館で開かれた。

特に、小学校部会で、本県より参加した福島市立三河台小学校の竹内健教諭の「学校図書館の運営組織について」の研究発表が行なわれ、多大の示唆を参会者一同に与えたことは、注目すべきことであつた。

以下、研究主題、本県よりの参会者名等を記す。

(1) 研究主題(小・中・高共通)

- ① 学校図書館の運営組織について
- ② 学校図書館における望ましい資料構成と資料の組織化について
- ③ 学校図書館が行なう読書指導について

(2) 本県よりの参加者・研究発表者

① 小学校部会

福島市立三河台小学校教諭 竹内 健
研究発表の主題名 「機能としての学校図書館を育てるには、どんな運営をしたらよいか。」

県教委事務局指導室指導主事 斎藤 正 夫
(小学校部会の司会者)

② 中学校部会

富岡町立富岡第一中学校教諭 松浦 一 彦

③ 高等学校部会

福島県立本宮高等学校教諭 波田野 勝 吉

なお、上記参加者は、福島県学校図書館協議会(安部丑亥会長)にはかつて、県教育委員会が、文部省に推せんしたものである。

4 第15回福島県学校図書館研究会喜多方大会

(1) 期日 昭和39年11月13日～14日

(2) 会場 第1日 喜多方市立第二小学校
喜多方市立第二中学校
県立喜多方女子高等学校

第2日 喜多方市立第二小学校

(3) 主催 福島県教育委員会

喜多方市教育委員会

福島県学校図書館協議会

耶麻学校図書館研究協議会

(4) 後援 耶麻管内小中学校長会連絡協議会

耶麻管内高等学校長協議会

耶麻地方教育委員会連絡協議会